



本業を通じたグローバルなCSR推進活動 - 日本電産の事例 -

2011年5月11日
日本電産株式会社
CSR推進室 室長
永安 正洋

- 日本電産 (NIDEC) の概要
- 日本電産のCSRに対する基本理念
- 日本電産のCSR推進体制
- 日本電産の代表的なCSR推進活動
 - 本業を通じたグローバルな取り組み —
- 日本電産のCSRの将来像
 - 本業を通じて地球環境に貢献 —

日本電産 (NIDEC) の概要

- 設 立 1973年7月23日
- 代表者 代表取締役社長 永守 重信
- 本 社 京都市南区久世殿城町
- 資本金 665億51百万円(2011年3月末)
- 上 場 東証1部・大証1部
ニューヨーク証券取引所 上場
- 事 業 精密小型モータ等の製造・販売
- 売上高 6,885億円(2011年3月連結)
- 社員数 約1,800人(グループ10万6千人)
- グループ 国内・海外160社



1973年 わずか4人のスタートでした！

日本電産創業の巻

FUJICOLOR 80 74



永守社長
当時28歳の姿

- HDD用モータなど**精密小型モータ**に特化
- 積極的な**海外展開**で事業拠点を拡大
- **M&A**を活用して駆動技術製品を強化

1973年
4名での創業



1988年
京証上場
大証2部上場

1998年
東証1部上場
大証1部昇格

2001年
ニューヨーク証券
取引所上場

**NJ
LISTED
NYSE.**

ソニー、本田、トヨタ等に続
き、日本企業として15社目
にニューヨーク上場

2011年
従業員10万6千人
グループ160社

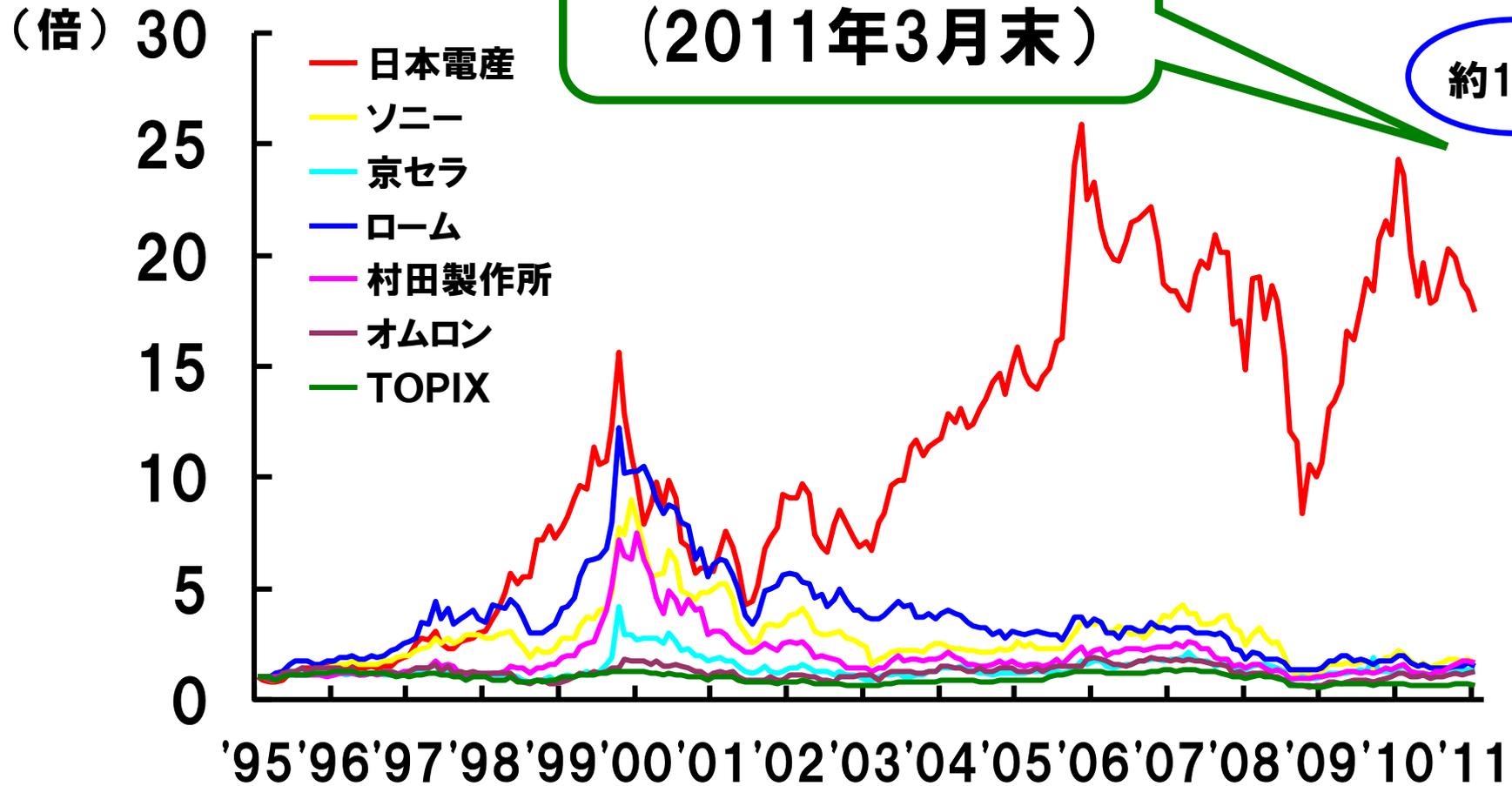


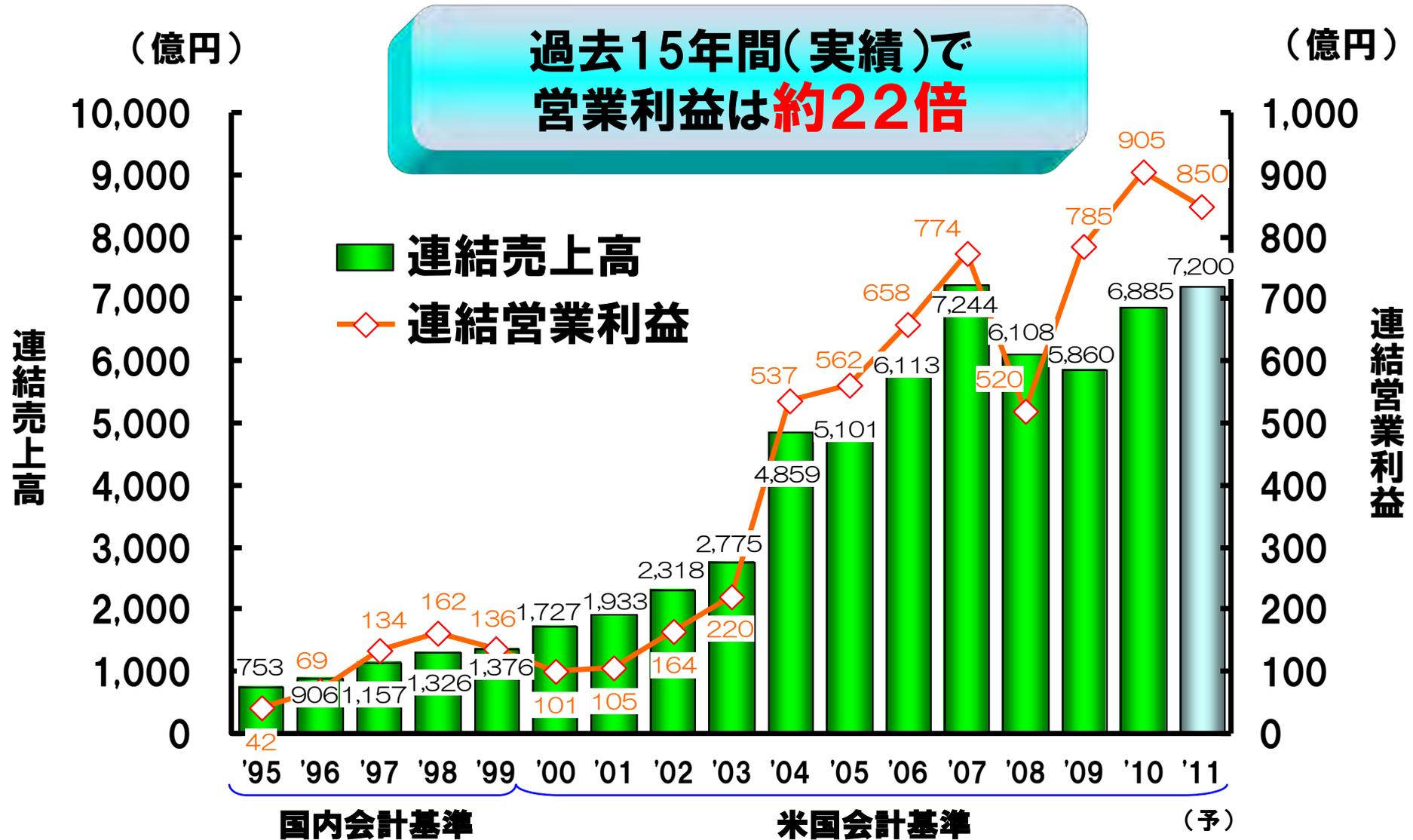
本社・中央開発技術研究所

1995年3月末
時価総額=1

1兆445億円
(2011年3月末)

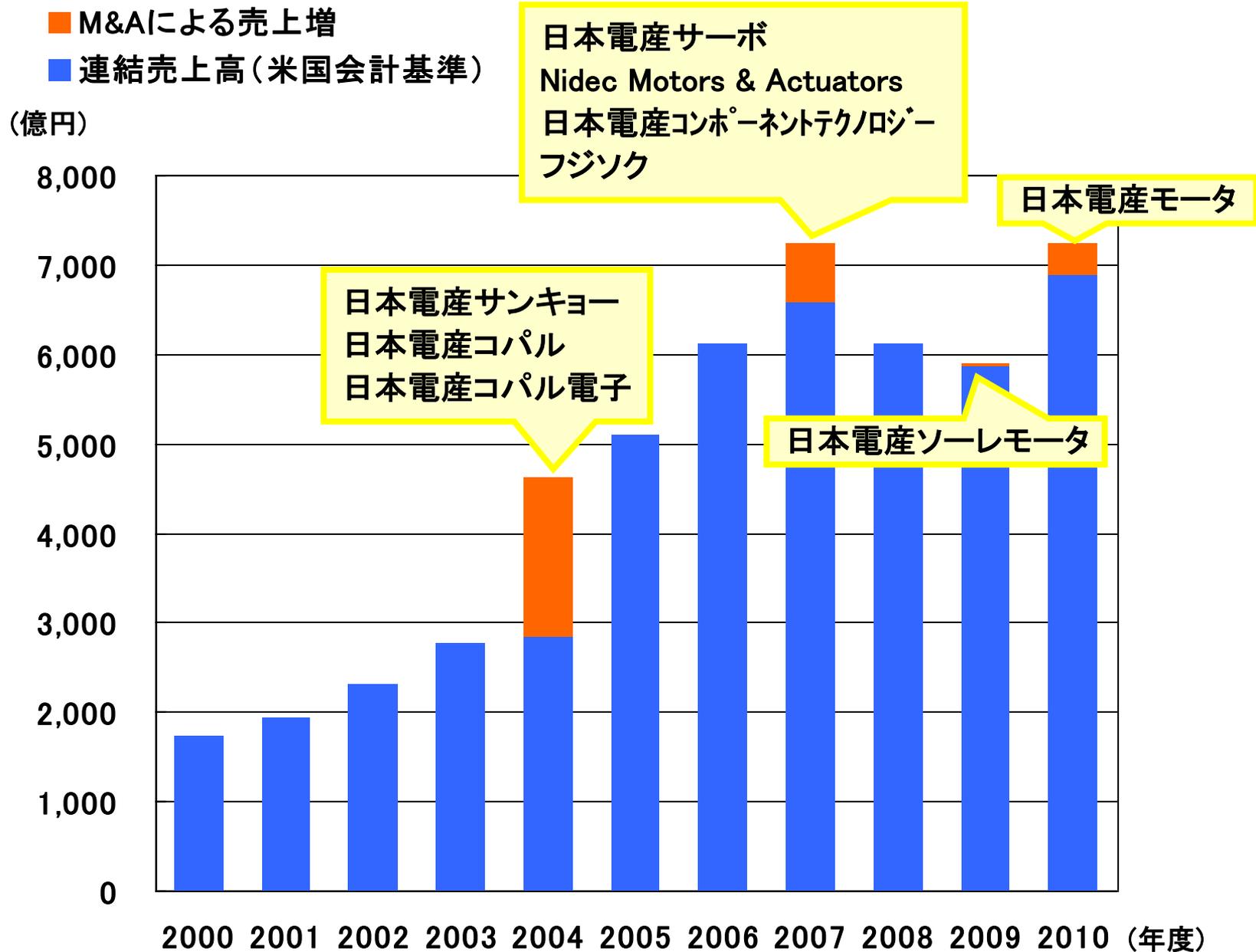
約17倍





※06年度以降の業績は、非継続事業発生による遡及修正を反映済み

売上高の推移(自律成長とM&A)



年	旧社名等(現社名等)	事業分野
1984	米トリン社軸流ファン部門(米国日本電産)	ファンモータ
1995	シンポ工業(日本電産シンポ)	変速機
1997	トソク(日本電産トソク)	自動車部品
	リード'エレクトロニクス(日本電産リード)	プリント基板検査
	京利工業(日本電産キョーリ)	高速プレス
1998	コパル(日本電産コパル)	シャッタ、レンズ'ユニット
	コパル電子(日本電産コパル電子)	トリマ、スイッチ
	芝浦製作所モータ部門(日本電産シバウラ)	家電用モータ
2000	ワイ'イー'ドライブ(日本電産パワーモータ)	産業用モータ
2003	三協精機製作所(日本電産サンキョー)	精密小型モータ、ロボット
2006	フジソク	スイッチ
	仏Valeo社Motors & Actuators事業 (日本電産モータース' アント' アクチュエータース')	自動車用モータ
2007	シンガポールBrilliant Manufacturing社 (日本電産コンポーネントテクノロジー)	HDD用ベースプレート
	日本サーボ(日本電産サーボ)	サーボモータ、ファンモータ
2010	Sole Motors (日本電産ソーレモータ)	家電用モータ
	米エマソン社Motors & Controls事業(日本電産モータ)	家電・産業用モータ



永守 重信 (ながもりしげのぶ)

《経歴》

昭和19年8月
昭和42年3月
昭和48年7月

京都に生まれる。
職業訓練大学校(現・職業能力開発総合大学校)電気科卒業。
28歳で日本電産(株)を設立、代表取締役社長に就任。

現在、日本電産サンキョー(株)の代表取締役会長(CEO)をはじめ、日本電産コパル(株)、日本電産トーソク(株)、日本電産コパル電子(株)、日本電産リード(株)などグループ会社110社の取締役会長などを兼務。

《主な著書》

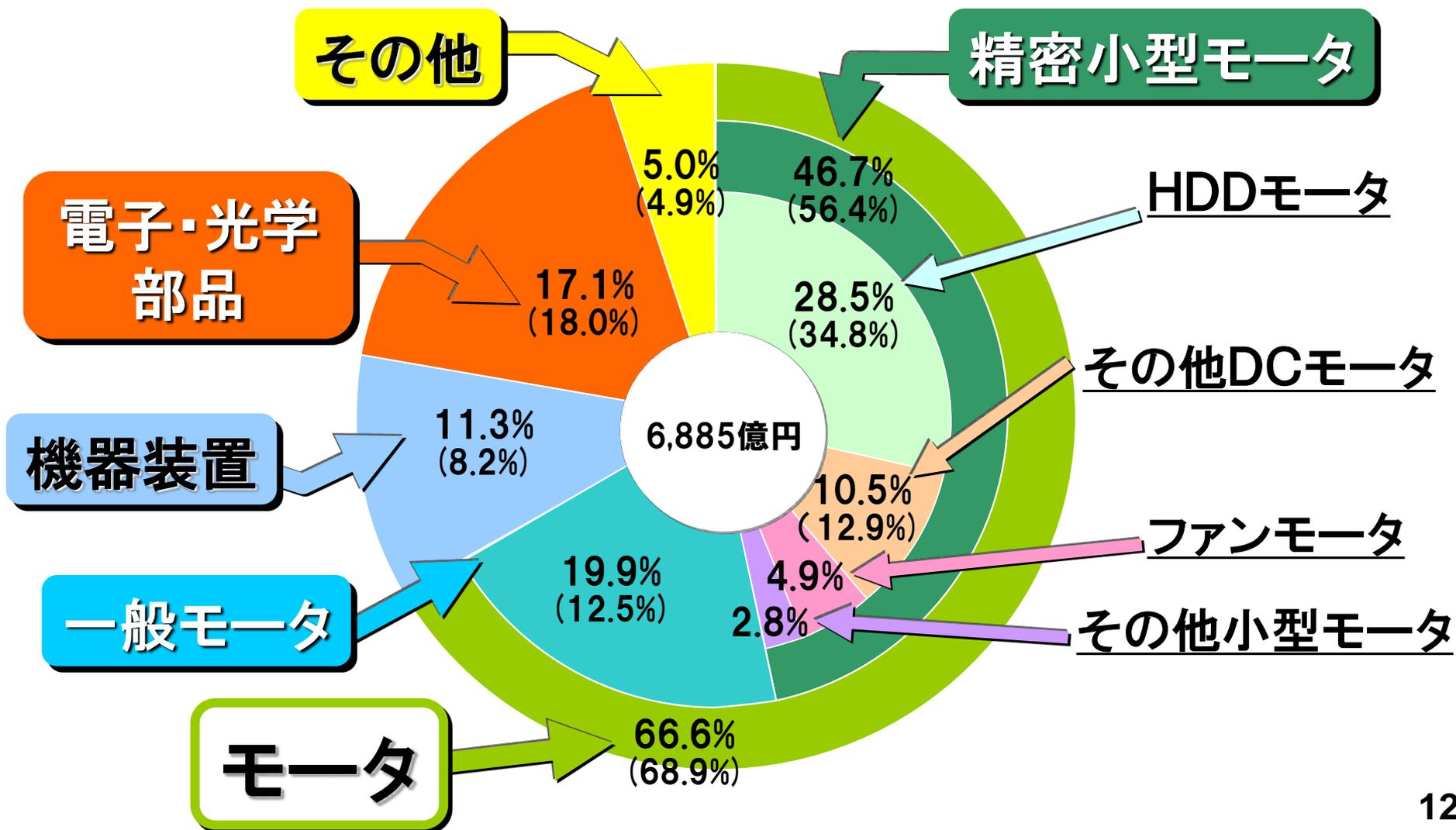
- ・「情熱・熱意・執念の経営」(PHP研究所)
- ・「『人を動かす人』になれ」(三笠書房)
- ・「奇跡の人材育成法」(PHP研究所)他

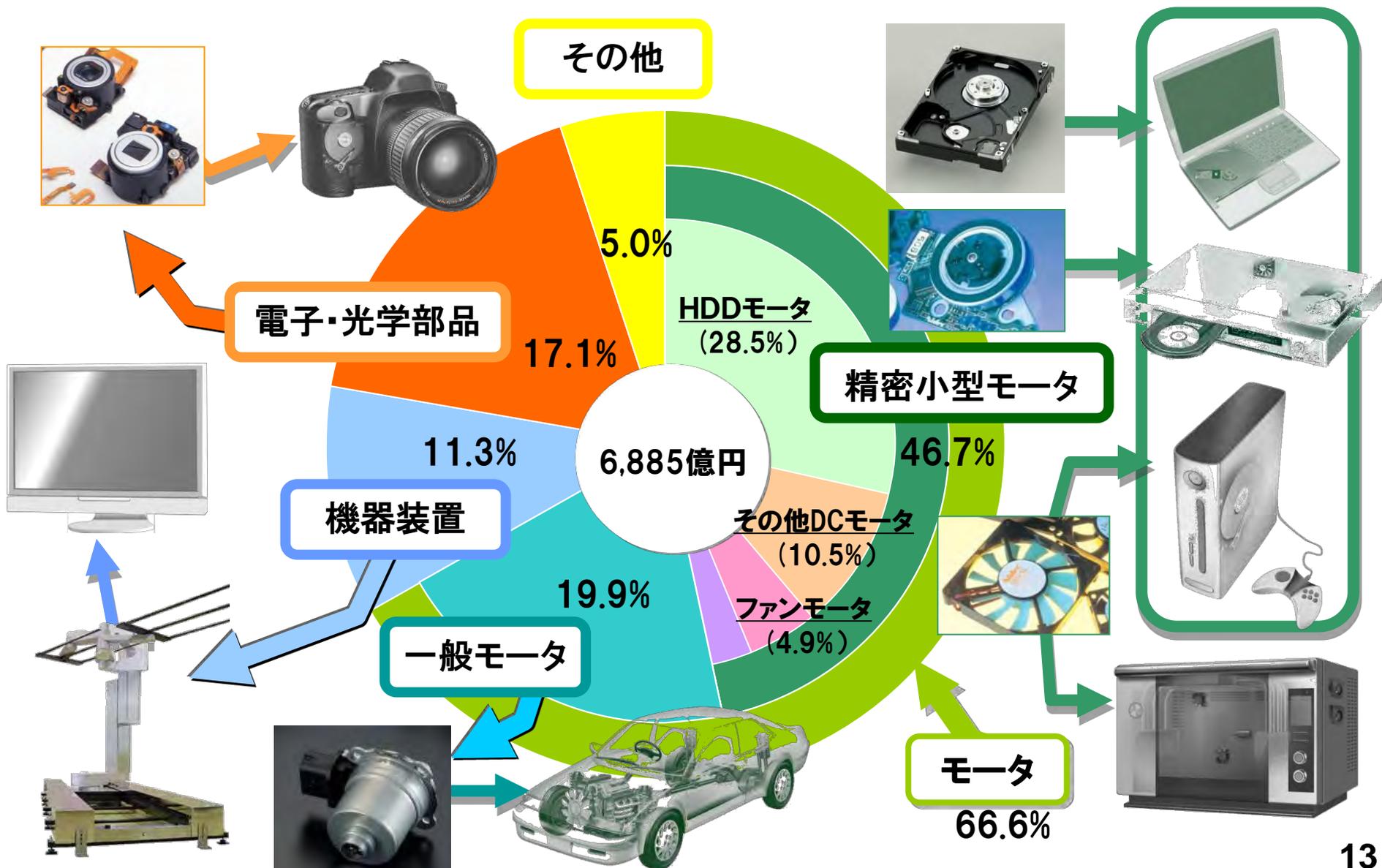


《世間の評価》

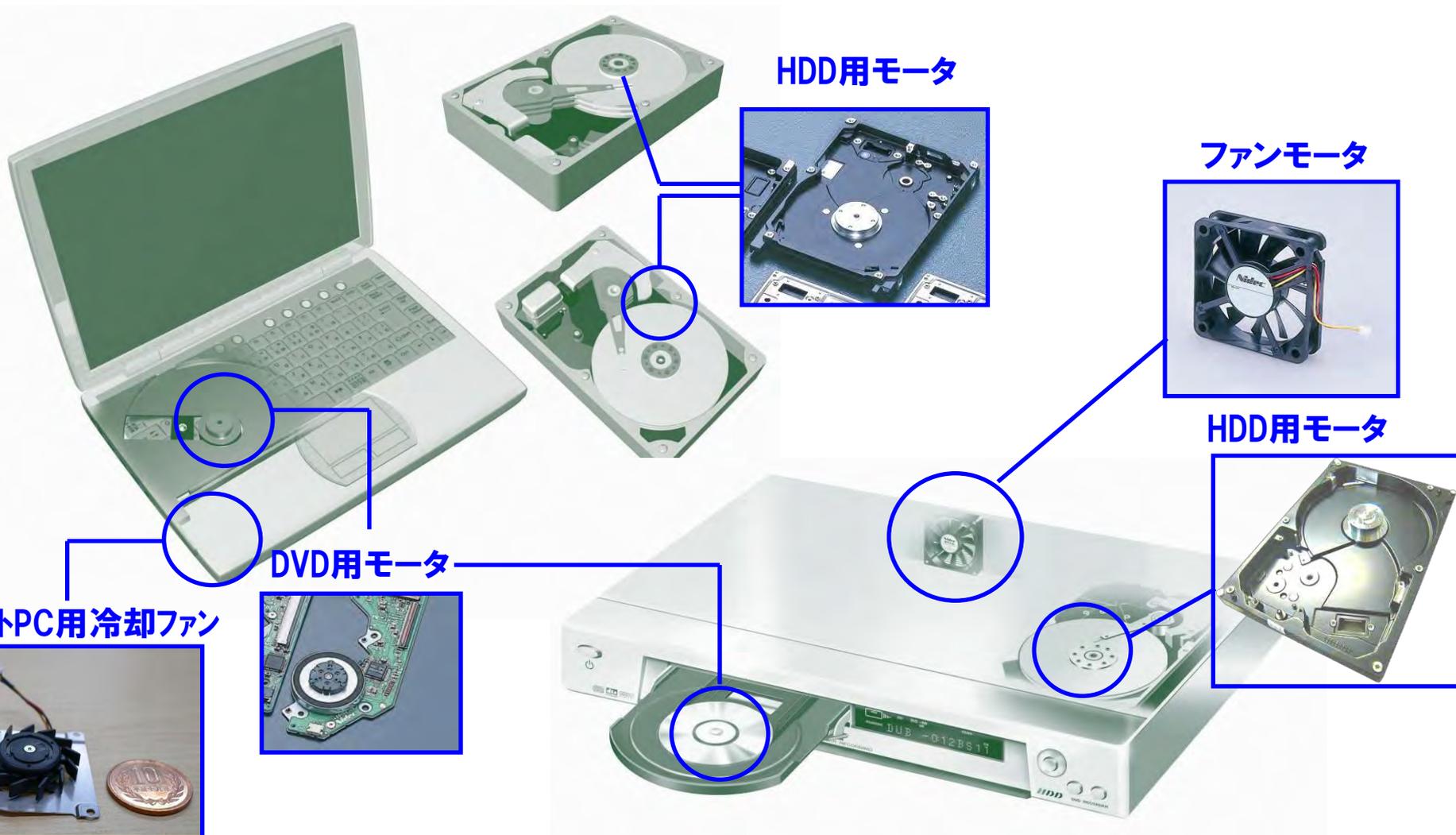
1. 「平成の名経営者ランキング」市場関係者の投票 **第1位**
(2004年1月 日本経済新聞)
2. 「勝ち続ける経営者」ランキング **3位**
(2005年12月日経ビジネスアンケート調査)
3. バロンの「最も尊敬される世界のCEO30」の一人
(2006年3月発表) ※日本人では永守社長のみ
4. M&A実績 国内・海外 計27社 別名;「平成の再建王」
5. 2006年 第8回 年間優秀企業家賞 大賞受賞
「企業家倶楽部」主催

※ ()内のパーセントは昨年度の売上構成比率





Nidecのモータの主な用途-1



Nidecのモータの主な用途-2

小型OA用モータ



スキャナ用モータ



排気用ファン



ファンモータ



ファンモータ



ポンプ用モータ



HDD用モータ



冷却用ファン



庫内循環用モータ



CD/DVD/BD
ドライブ用モータ



世界で圧倒的シェアを有するNidecブランド



HDD用モータ



光ディスク装置用モータ



ファンモータ
(家電・パソコン・AV用)



デジタルカメラ用シャッタ



カードリーダー(銀行端末用)



液晶ガラス基板搬送用ロボット

日本電産は ブラシレスDCモータの世界NO.1メーカー

	ブラシレスDCモータ	ブラシ付DCモータ	ACモータ
省エネ			
長寿命			
小型・軽量化			
低騒音			
高精度			
高制御			
整流方式	電氣的	機械的	—
騒音・ノイズ	○	▲	▲
エネルギー効率	○	▲	×
寿命	○	▲	○
精度・制御性	○	▲	×
小型・薄型化	○	▲	×
価格	▲	○	▲
用途	デジタル製品中心	アナログ製品中心	

デジタル化の進展に伴い需要が急拡大

油圧制御機構(ガソリン)

ハイブリッド

電気自動車

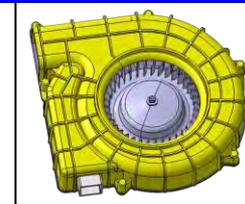
デュアルクラッチ



電動サスペンション



バッテリー冷却ファン



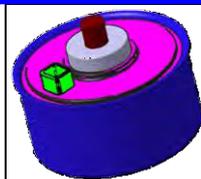
ウォーターポンプ



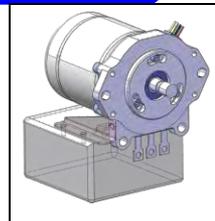
メイン駆動モータ



オイルポンプ



EPSモータ



ブレーキ



後輪操舵装置





旧来のACモータ



モータのサイズは半分、
エネルギー効率は3倍へ

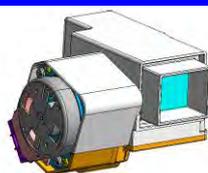


最新のブラシレスDCモータ

衣類乾燥用ブロワ
静音性UPと高効率化



吸気ダンパー



ドラム駆動モータ
静音性UPと高効率化



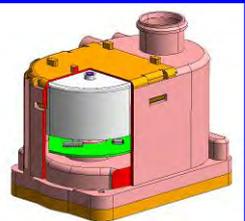
循環排水ポンプ
多機能化と高効率化



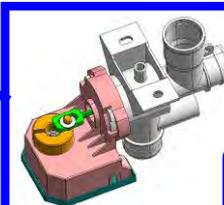
排水弁駆動モータ



風呂水ポンプ



ドレインバルブ駆動ユニット





プラズマ・液晶TV



パソコン



携帯音楽プレーヤー



携帯電話



デジタルカメラ



DVDレコーダー



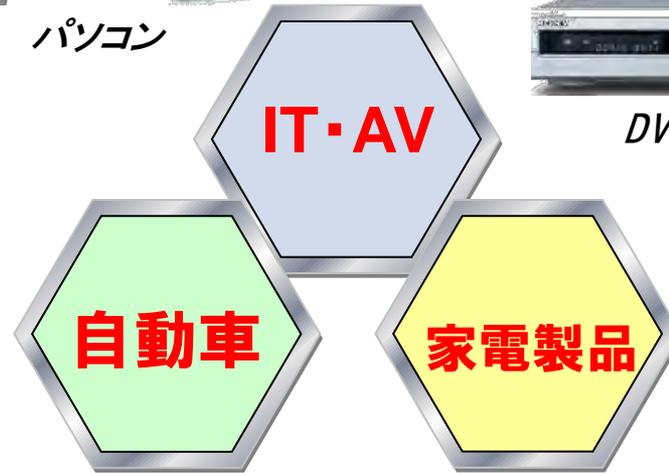
冷蔵庫



サンルーフ



カーナビ



電子オーブン



電動開閉用モータ

シート調整用モータ



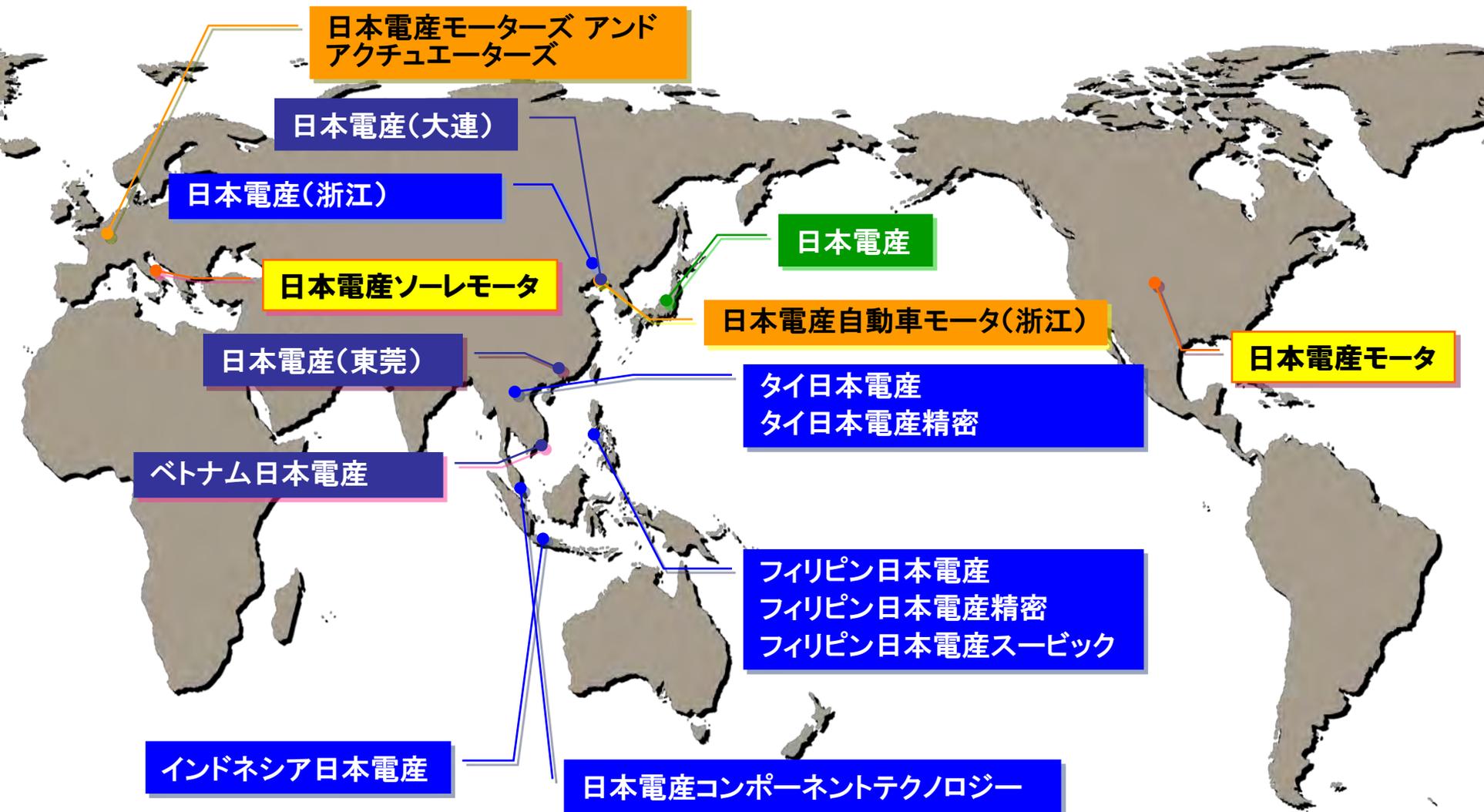
「回るもの、動くもの」
のすべてに

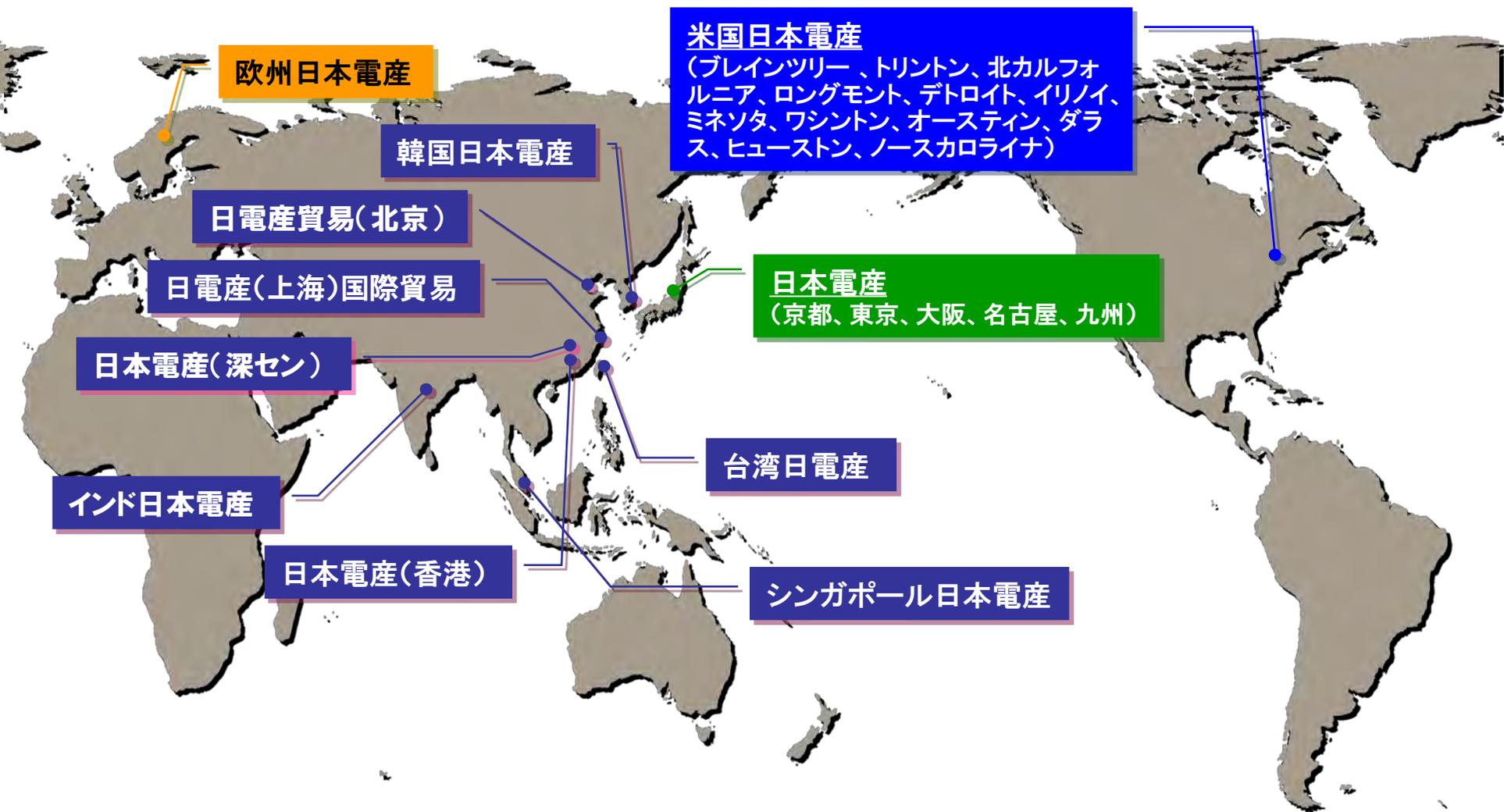


エアコン



斜めドラム式
洗濯機





Nidec(日本電産本体)の研究開発拠点 All for dreams.

中央開発技術研究所(京都)

- ・HDDモータの基礎研究
- ・HDDモータの製品開発



長野技術開発センター

- ・HDDモータの製品開発



精密加工センター(京都)

- ・要素技術の研究開発



モーター基礎研究所(東京)

- ・モータの基礎研究



滋賀技術開発センター

- ・車載用モータの製品開発
- ・DCモータ・ファンモータの製品開発



【3つの経営基本理念】

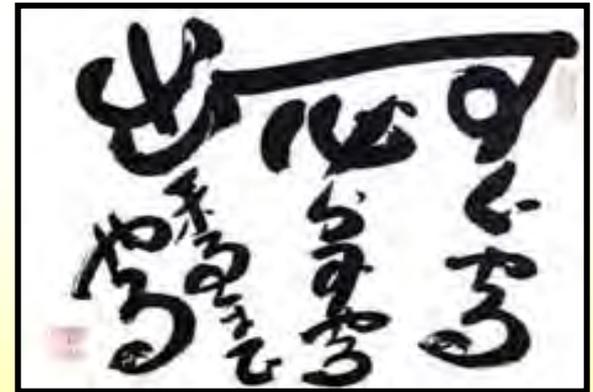
- 一. 最大の社会貢献は**雇用の創出**であること。
- 二. 世の中で**なくてはならぬ製品**を供給すること。
- 三. 一番にこだわり、何事においても**世界トップ**を目指すこと。

【3大精神】

「**情熱・熱意・執念**」

「**知的ハードワーキング**」

「**すぐやる、必ずやる、出来るまでやる**」





「すぐやる、必ずやる、出来るまでやる」

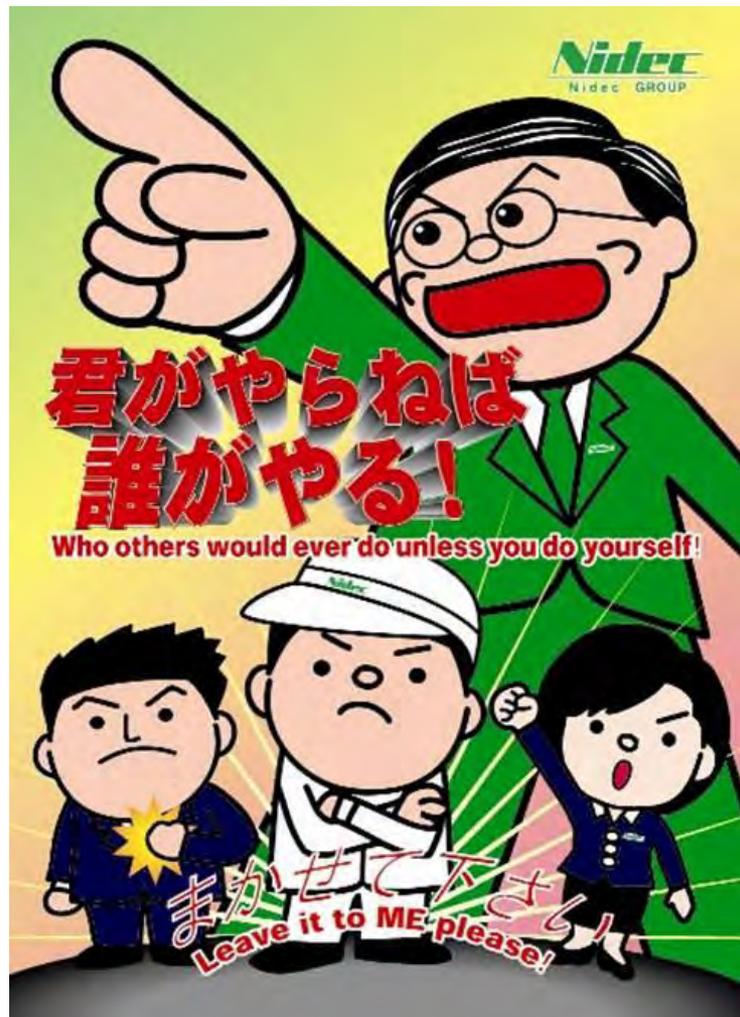


スピード経営の実感

米系IT企業 = 日系総合電機 X 10倍

NIDEC = 米系IT企業 X 10倍

∴ NIDEC = 日系総合電機 X 100倍



幹部行動指針

~~甘い~~



厳しく

~~遅い~~



早く

~~中途半端~~



完璧に

3Q6Sとは

3Q

良い社員 (Quality Worker)

良い会社 (Quality Company)

良い製品 (Quality Products)

6S

整理 (Seiri)

整頓 (Seiton)

清掃 (Seiso)

清潔 (Seiketsu)

作法 (Saho)

躰 (Shitsuke)



6Sの徹底により一流の社員が一流の製品を生み、一流の会社を作る。

日本電産の CSRに対する 基本理念

CSR(企業の社会的責任)の歴史

年度	95	...	00	...	05	...	10
----	----	-----	----	-----	----	-----	----

社会の
動向

環境

ISO 14001

労働安全

OHSAS 18001

人権・倫理

国連グローバルコンパクト

行動規範

電子業界行動規範

当社の
対応

環境

ISO14001認証取得

労働安全

OHSAS認証取得

行動規範

調査・検討

※ CSR 憲章

体制

CSR 委員会

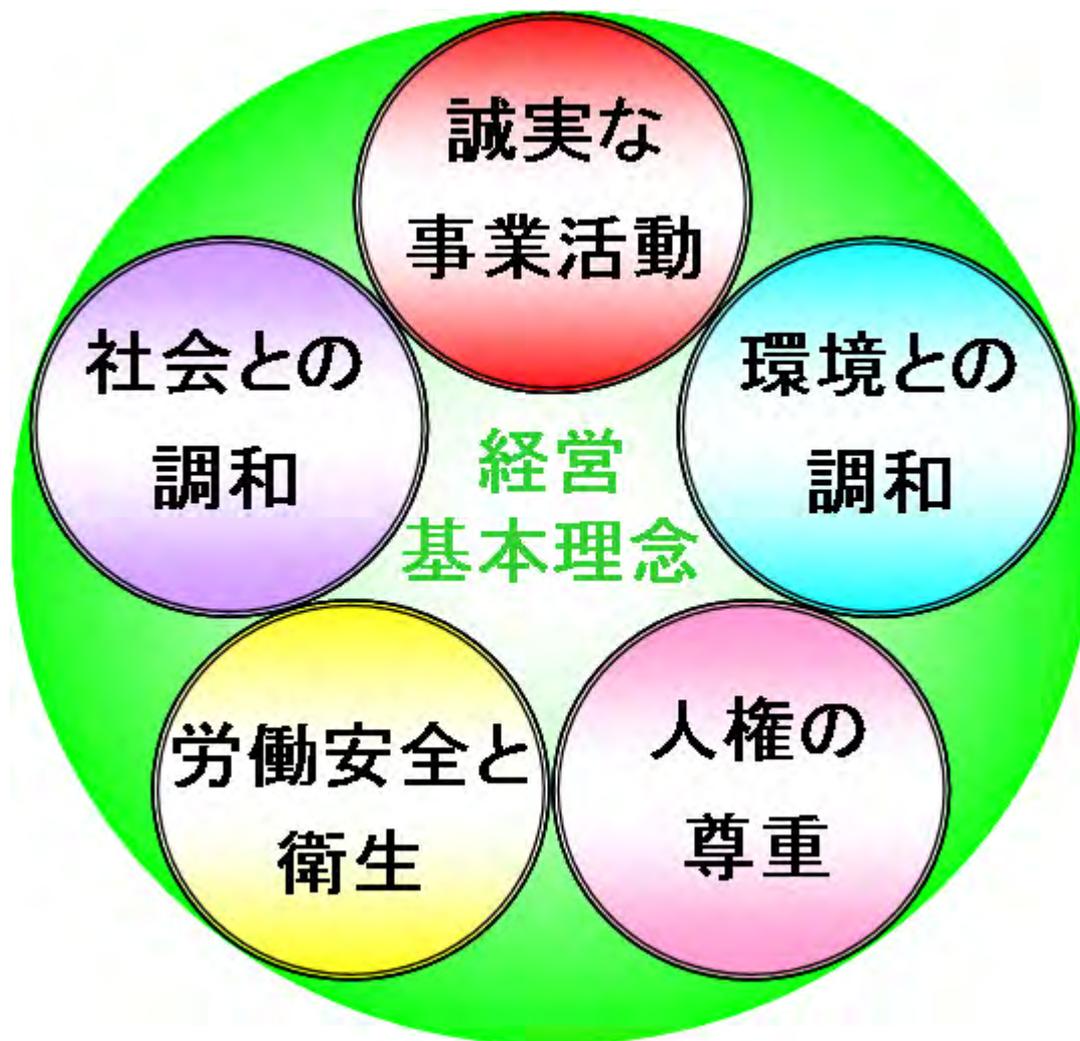
※CSR憲章は、「国連グローバル・コンパクト10原則」や「電子業界行動規範(EICC)」を参考に決めました。

日本電産のCSR憲章前文から

日本電産は「企業は社会の公器である」との認識のもと、**全世界に通じる製品及び技術で社会に貢献するとともに、雇用の安定的拡大と企業の持続的な成長**を目指します。

日本電産の全役員及び全社員はCSR(企業の社会的責任)の重要性を十分に認識し、本憲章に基づき誠実で透明な企業活動を行います。

経営基本理念に根ざした5つの基本姿勢



1) 誠実な事業活動

当社は、事業活動を行う国の法規制及び社会的要求事項の順守の重要性を認識し、**国際的な基準に沿った誠実で公正な事業活動**を行います。

当社は、公正で透明性の高い情報開示を行うとともに株主、顧客、取引先、社員などの**ステークホルダーの皆さまとの双方向のコミュニケーション**を図り、社会の信頼を獲得できるよう取り組みます。

当社は、製品の安全、品質、信頼性の向上に向け、公正な取引、透明で自由な競争を行い、**取引先と協力し、お互いの成長**を目指します。

2) 環境との調和

当社は、**地球環境の永続的保全**が、人類共通の重要課題であることを認識し、**地球環境に配慮した事業活動**を通じ、**環境負荷の低減**に取り組みます。

3) 人権の尊重

当社は、強制労働や児童労働が無く、社員一人ひとりがお互いの個性を認め合い**人権が尊重される差別の無い職場環境**を目指します。

4) 労働安全と衛生

当社は、会社と社員の協力のもと、職場における社員の**安全と健康を確保**し、社員がその能力を十分に発揮できる**職場環境の形成**に取り組みます。

5) 社会との調和

当社は、社会との良好な関係を築き、共に成長することが企業の持続的な成長を図るうえで不可欠であると考え、**社会と共に発展**することを目指します。

当社は、事業活動を行う国または地域の文化、習慣等を尊重し、**地域社会に根ざした社会貢献活動**に取り組みます

日本電産の CSR推進体制

2008年4月に発足

CSR委員会を取締役会のもとに設置

事務局: CSR推進室

CSR委員会が議案を審議・意思決定

各事業所が推進活動を展開

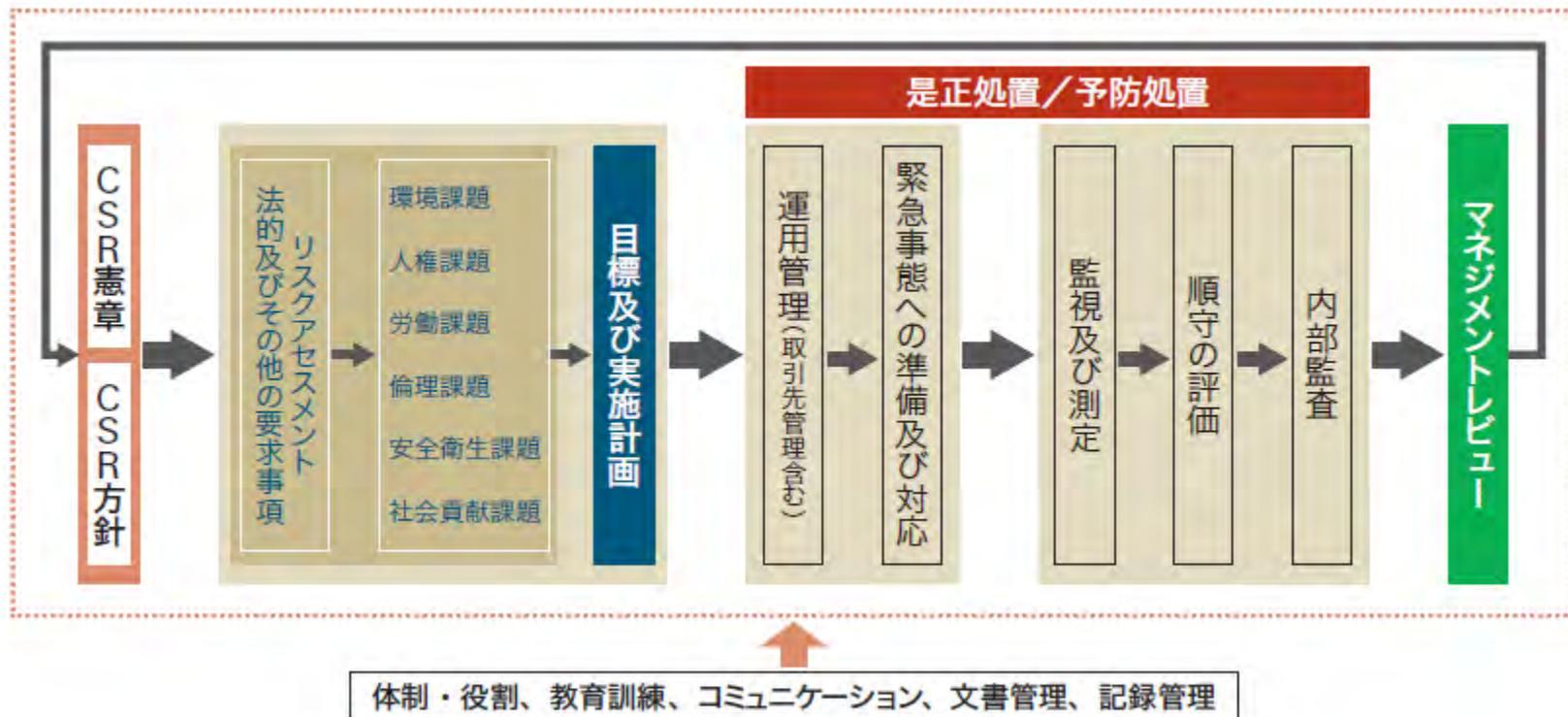


CSRの要素毎に国際規格が存在。

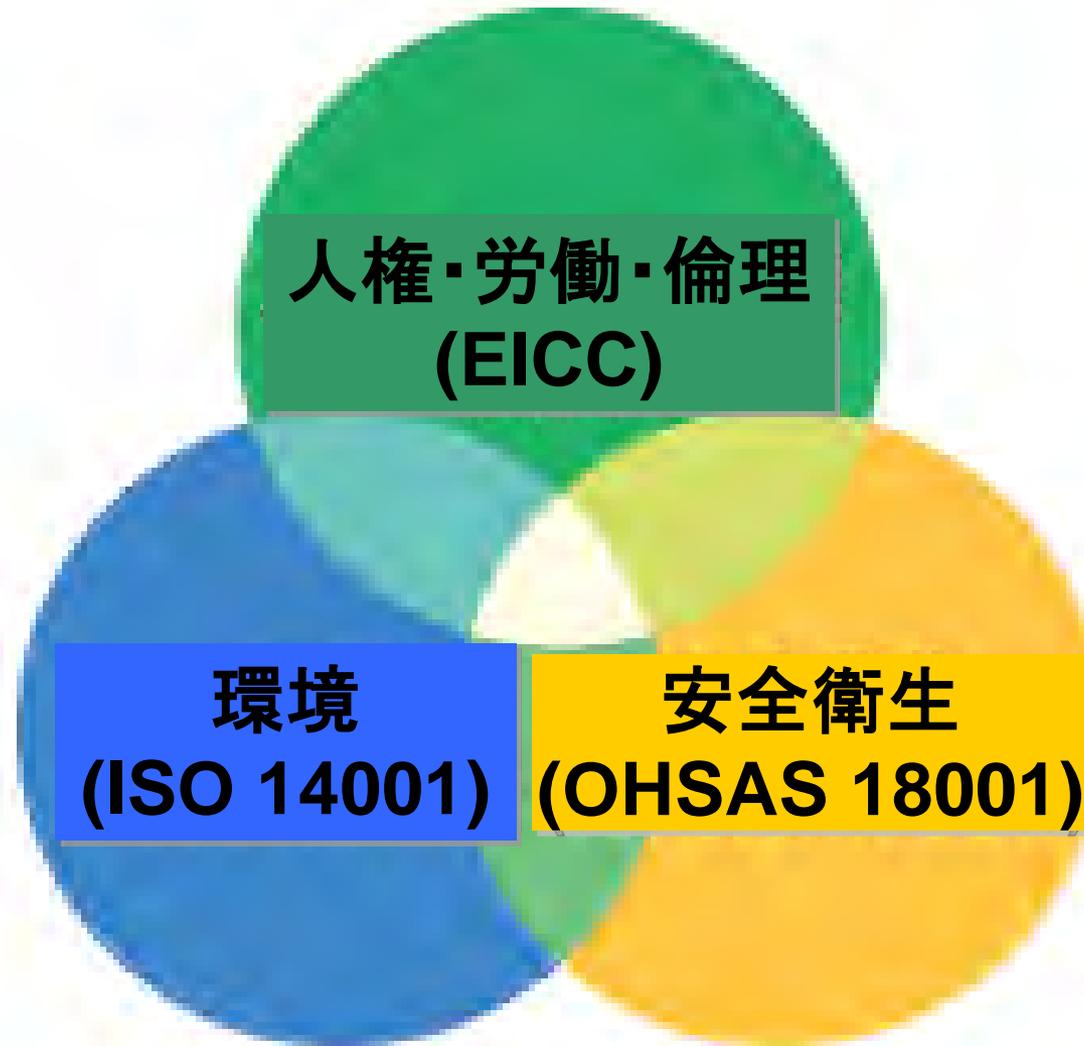
CSRの要素	国際規格	規格制定団体
環境	ISO 14001	国際的な標準化機構
労働安全衛生	OHSAS 18001	国際的コンソーシアム (各国の労働安全衛生機関の集合体)
人権・労働・倫理	EICC (電子業界行動規範)	業界団体

多くの企業が第三者監査を受けて国際規格の認証を取得。

- ・CSRマネジメントシステム
CSRの目標を管理・運用する仕組み。
- ・PDCAサイクル・・・管理業務を円滑に進める方法
Plan(計画) Do(実行)
Check(評価) Action(処置・改善)



- ・参考にした国際規格



環境
(ISO 14001)

安全衛生
(OHSAS 18001)

人権・労働・倫理
(EICC)

1つのマネジメントシステム

導入済
海外主要事業所

効果

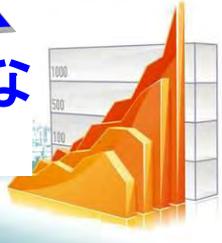


実態に応じた
継続的な改善

企業価値
アップ!

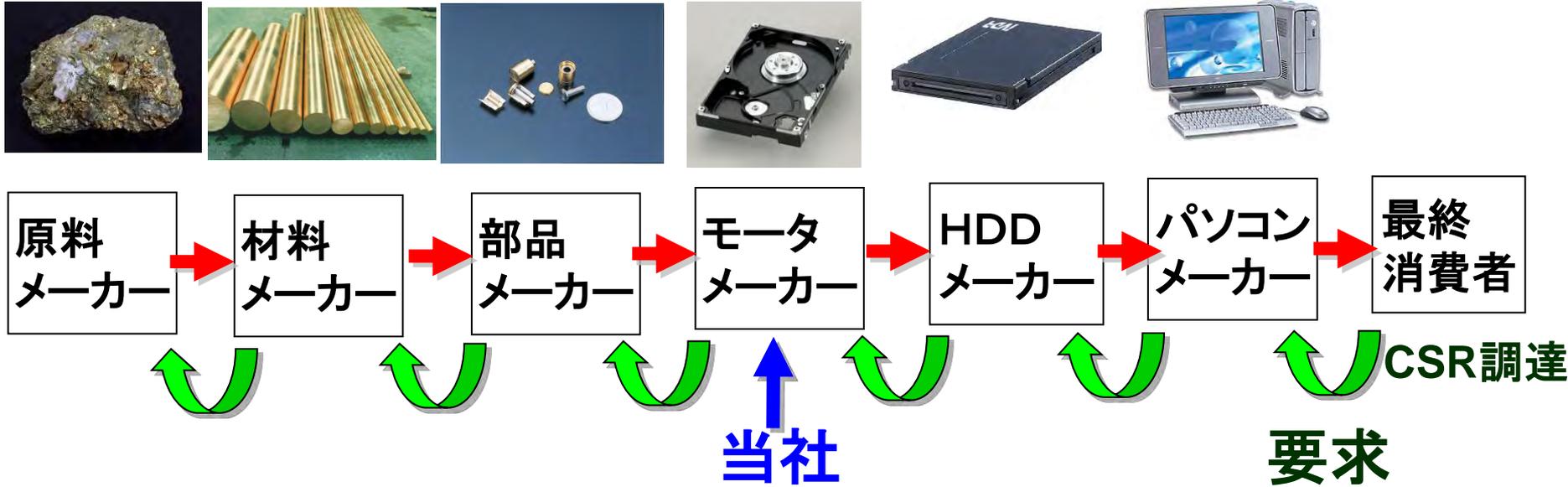


着実な
成果!



サプライチェーン

パソコンの流通を例にとると



当社から見たサプライチェーン

➡ はモノの流れ

1. 取引基本契約書の締結

取引先の企業活動に**行動規範の共有**をお願い
企業の社会的責任(**CSR**)に関する**規定あり**



契約

2. サプライチェーンCSR推進ガイドブック

CSRの**基準を明示**
取引先向け**説明会**の開催

● CSR 調達評価フロー

3. サプライヤーCSRセルフアセスメント

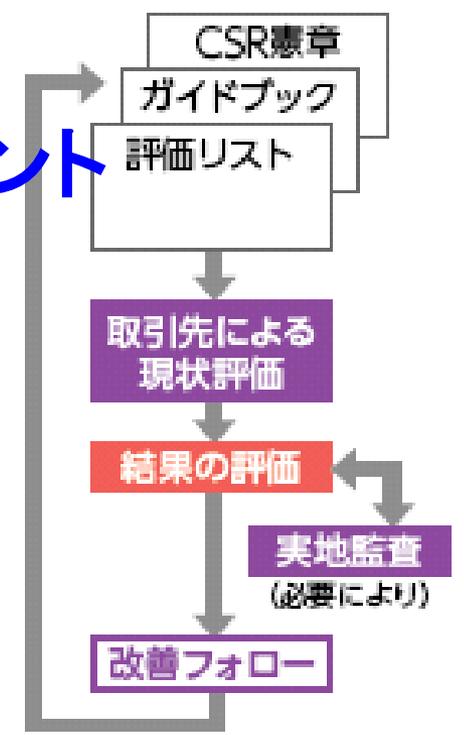
取引先が自社のCSR活動状況を**定期的**に評価



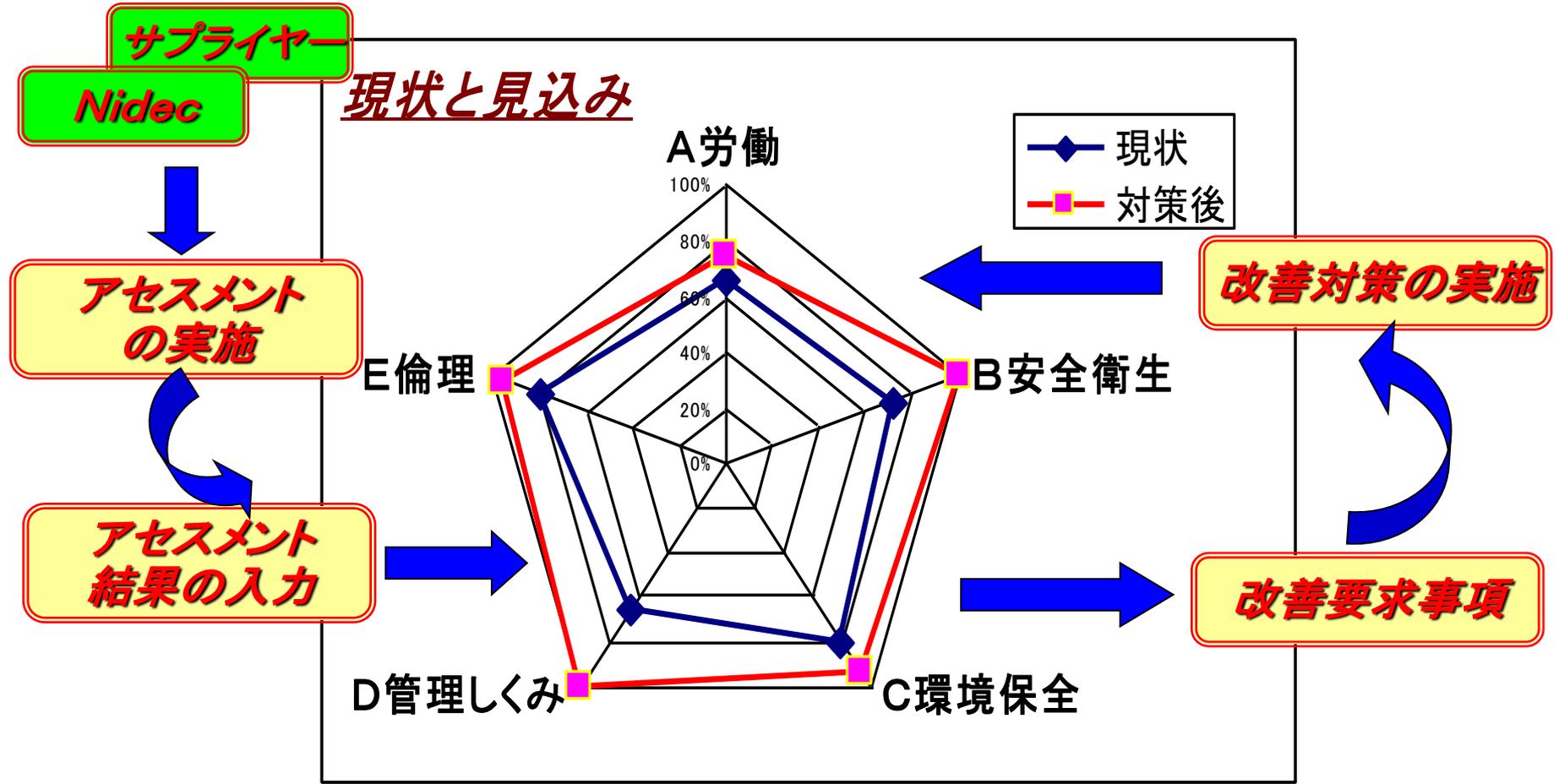
モノの流れ

部品メーカー

当社



セルフアセスメント 実施・評価・改善



毎年1回、定期的にアセスメントを実施し、継続的改善につなげる

年度	10	11	12	13	14	15
政策的 トレンド	親子上場	検討と立法化		子会社非上場化		施行
	CSR調達	監査員養成		調達先の認定監査		
	生物多様性	企業方針		継続的な取り組み		
	対象範囲	単体からグループ全体のカバーへ				グループ全体

今後の方針

社会的要請の多様化・高度化への対応の為、CSR委員会を拡大。

CSR 委員会	単体	委員会充実	拡大統合
	グループ 全体	CSR連絡会	

日本電産の代表的な CSR推進活動

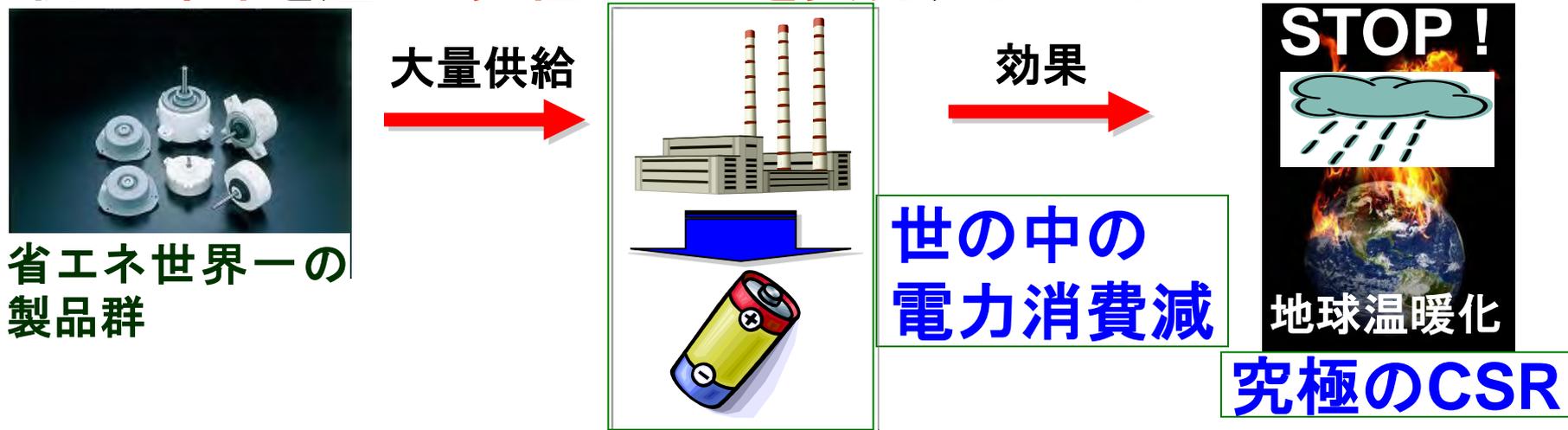
— 本業を通じた

グローバルな

取り組み—

特徴1. 本業を通じたCSRを最重視

例1. 本業を通じた究極のCSRを実現するビジネスモデル



例2. 当社の成長戦略と社会貢献とを結合する経営手法



特徴2. 事業所の特性を活かしたグローバル展開

例1. 全社方針を基に毎年各事業所がCSR目標を設定
先進的な事業所の実施例を後発の事業所に導入

例2. 事業所の地域特性が表れた共通活動
各種マネジメントシステム, 取引先との協同, 地域清掃, 寄付等



代表事例1. CSR啓発活動

社員に通信教育・eラーニングを実施。

通信教育は、3ヶ国語対応(日本語・英語・中国語)。

eラーニングは、日本語版のみ(英語版・中国語版は今後開発)。



eラーニング

代表事例2. 社会貢献活動の推進

- (1) 国際NGOに協力して途上国の子どもへの教育を支援。
中国・フィリピン・タイ・ベトナムの地域開発の継続的な支援と、
地域代表の子供たち40名との手紙による交流。
- (2) 日本とフィリピンの小学校で毎年地球環境を守る大切さを
訴える授業を実施。



手紙による交流

写真の交換

フォスター・ペアレンツ
(国際的里親制度)

NGO プラン
との協同



日本



フィリピン

小学校へ出掛けて授業をし、
地球環境を守る大切さを訴える。



クリップモータを小学生と作る

代表事例3. 計画的環境保全活動の継続

3カ年単位で事業所毎に計画を立てて取り組み。

生物多様性保全への取り組みも環境保全活動の一環として実施。

高度成長を環境で！



ビオトープ

里山保全の
デベロッパー

希少種保護には
生態系の開発も必要



屋上緑化

人が手入れをして
自然環境と共存

水は生命の故郷です



フィリピン

水辺の清掃と
植林

よみがえれ！ マングローブ林



タイ

マングローブの植林

日本電産の CSRの将来像

— 本業を通じて地球環境に貢献 —

グリーン・ニューディール時代

【4つのキーワード】

省エネ・エコ・軽薄短小・ハーフプライス

- ①省エネ : エネルギー効率の改善、より低燃費へ
- ②エコ : より環境に優しい製品開発へ
- ③軽薄短小 : 小型化・薄型化の一層の進展へ
- ④ハーフプライス : 全ての製品が半値の時代へ

本格的なブラシレスモータ時代の幕開け

従来のACモータ、ブラシ付きモータの置き換えが加速

ブラシレスモータ需要の拡大

Nidec

は、この内の6割程度

20%

ブラシレスモータ

100W以下の精密小型モータ分野においても、

省エネ・エコ・軽薄短小・ハーフプライスの新潮流に乗ってブラシレス化が加速

置き換えが拡大

年間総需要
約80億個

80%

ブラシ付きモータ
ステッピングモータ
くまとりモータ、等

(日本電産IR部推定)

油圧制御機構(ガソリン)

ハイブリッド

電気自動車

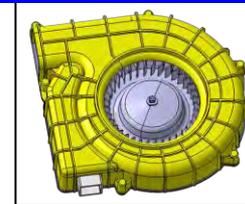
デュアルクラッチ



電動サスペンション



バッテリー冷却ファン



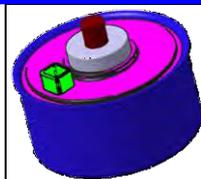
ウォーターポンプ



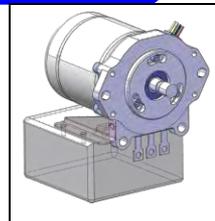
メイン駆動モータ



オイルポンプ



EPSモータ



ブレーキ



後輪操舵装置



インバータエアコンの市場潜在性



日本電産シバウラ製
インバータエアコン用
ブラシレスDCモータ

市場は今後全世界に広がる

中国

-インバータエアコン普及率**10%**
-価格競争市場で省エネ意識はまだ低い

米国

-インバータエアコン普及率**20%**
-北米ではダクト式エアコンの普及率が高い

欧州

-インバータエアコン普及率**20%**

欧米、BRICSの普及率が
格段に低く、今後急成長

日本

-インバータエアコン普及率**100%**

世の中になくってはならない商品を生供給

ブラシレスDCモータを応用して、人に優しく地球に優しい分野へ。



人に優しく



ソーラー
プレーン



鉄道



動作補助
ロボット

自動ドア
ブラシレス実用化



小型発電機

発電機メーカーと
タイアップ



ハイブリッド車
・電気自動車



地球に優しく

夢を駆ける, 夢へ翔る

ハイブリッド車・・・ル・マンで優勝を目指す東海大学を後押し
ソーラープレーン・・・普及へ向けて高性能モータを

東海大学ル・マンプロジェクトの
メインスポンサーに

ハイブリッド車で参戦

ル・マン
24時間
耐久レース

Nidecの
ブラシレスモータを搭載

高性能モータが優勝の鍵

ラジコン電動グライダー
世界選手権制覇



駆ける



ソーラー
プレーンへ



翔る

世界に灯りを

小型発電機・・・電気の届かない地域で電気を起こし、
夜でも灯りのある生活を実現。 **灯りのある生活を**



どこでも発電



バリアフリーからアシストオペレーションへ

動作補助ロボット・・・高齢者・障害者の
動作を補助し、
社会進出を促進。



歩行補助



社会進出を促進

Nidec®
All for dreams™